

令和4年度 学校経営方針

令和4年4月27日
調布市立第六中学校長

1 学校の教育目標

- 自ら学び、考える生徒
- 命を大切にす生徒
- 何ごともやりぬく生徒

2 経営方針と方策

(1) 「自ら学び、考える生徒」→ 生徒一人一人の学ぶ意欲を高め、学力向上を図る。

- ① 一人一台モバイル端末を活用しながら、根拠を明確にし自ら学んだことを発表する、学習の内容をまとめるなどの学習活動を通して、問題解決や探究活動に主体的に取り組む態度や創造的思考力を育む。
- ② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、適切な指導計画・評価計画に基づいた少人数・習熟度別指導を効果的に実施し、教材・教具などユニバーサルデザインの視点に立った授業を充実させる。
- ③ 社会に開かれた教育課程の実現を目指すとともに、コロナ禍において、ICT機器を活用ながらカリキュラム・マネジメントの視点を踏まえた系統性・発展性のある教育活動を工夫する。

(2) 「命を大切にす生徒」→ 心の教育を充実させ、生命を尊重し、共に助け合う態度を育てる。

- ① 人権尊重の精神、自他の生命尊重や思いやりの心を醸成するために、人権教育及び道徳教育を重視し、あらゆる教育活動を通して豊かな心を育成する。
- ② 生徒理解の深化を図るとともに、教師と生徒及び生徒相互の人間関係を形成し、学習規律や生活規律などの自己指導能力を身に付けられるよう、生徒指導を充実させる。
- ③ いじめは絶対に許されない行為であるという共通認識のもとで、「学校いじめ防止対策基本方針」に基づき、未然防止、早期発見、早期対応に努め、指導の徹底を図る。
- ④ 不登校や特別な支援を要する生徒へのきめ細かな支援に当たり、特別支援教育を推進する。また、特別支援教室拠点校として、校内通級教室における指導を充実させる。

(3) 「何ごともやりぬく生徒」→ 豊かな体験活動を充実させ、心身ともに健康に生きる態度を育てる。

- ① 安全で安心な学校環境を保持するとともに、望ましい食習慣や体力向上を図るために、地域や家庭と連携し、組織的・計画的な健康・安全教育を充実させる。
- ② 望ましい勤労観・職業観を育成するために、職場体験活動等を実施するとともに、主体的な進路選択に向けて、キャリア・パスポートを活用しながらキャリア教育の視点に立った進路指導を充実させる。

(4) 特別支援教育の充実を図り、生徒に寄り添ったきめ細やかな支援に当たる。

- ① インクルーシブ教育システム構築のため、校内研修会を通して特別支援教育に対する教員の理解を深め、個に応じた支援及び指導の充実を推進する。
- ② 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会で支援の必要な生徒の支援方法を検討するとともに、特別支援教室専門員等を活用して巡回相談や関係諸機関と連携を図り、個別の教育支援計画や個別指導計画に基づいた指導・支援を行う。

(5) 集団生活を通して生活指導の充実を図り、安全で安心な学校環境を保持する。

- ① あいさつ運動、授業、朝礼、学年集会をはじめ意図的・計画的な学年・学級経営を活用して協働体制をつくり、あいさつ、礼儀、時刻を守る等の基本的な生活習慣について、継続的に指導する。
- ② いじめ、不登校、生活指導上配慮が必要な生徒に対して、ガイダンス機能の充実を図り、特別支援教育校内委員会をはじめスクールカウンセラーや関係諸機関、小学校と連携を図り、9年間を見通したきめ細やかな教育相談活動を実施する。
- ③ 安全で安心な学校環境を保持するために、学校安全計画に基づいた毎月の安全指導や避難訓練をはじめ、調布市防災教育の日、セーフティ教室、普通救命講習、薬物乱用防止・防煙教室等を通して、危険回避や安全確保について計画的・継続的に指導するとともに、情報モラル教育を推進する。

(6) 保護者・地域と連携し、学校教育活動の活性を図る。

- ① 地域学校協働本部事業を活用し、学習ボランティアを活用した学習支援、英語検定や漢字検定、数学ステップアップ教室や英語検定直前自習サポート教室等を実施し、基礎的・基本的な学力を定着させる。
- ② 学校評価（自己評価、学校関係者評価）を分析し、魅力ある学校づくりを推進する。

(7) 予算編成・執行の適正化を図る。

① 経費節減と有効活用

従来から執行していた経費等について、より効果的・合理的な方法を検討して経費節減に努めるとともに、学習環境・生活環境を整備し、生徒が落ち着いた雰囲気の中で安全に学校生活を送れるよう、予算の有効活用を図る。

② 計画的な予算執行

年度当初から計画的に予算執行し、年度末になってまとめて執行することのないようにする。また、説明責任を果たし、公平・公正性の担保に努める。